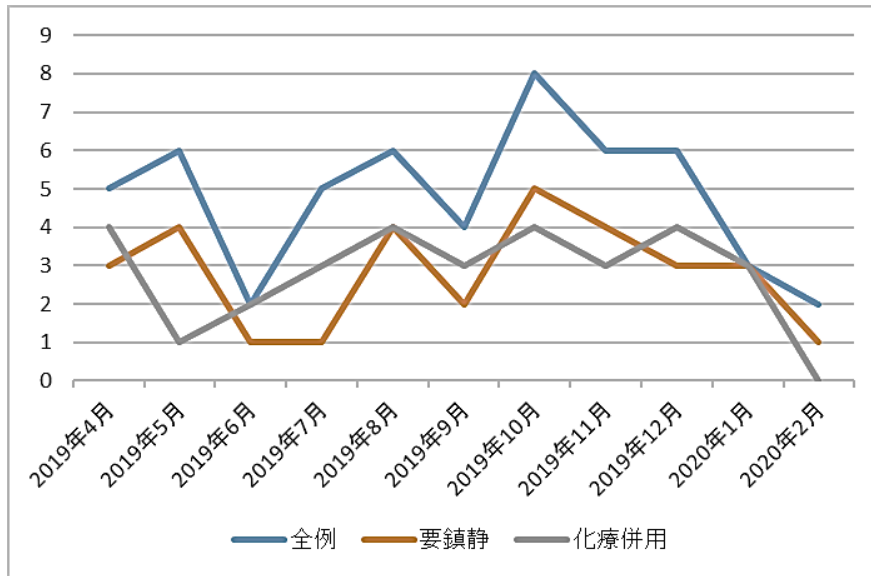


4 小児がんの進捗状況について

項目	内容
令和元年度の活動報告 一部予定	<p>(1)研修教育:看護研修会 1回目: 2019年7月6日(土) 基礎編 2回目: 2019年9月14日(土) 補完代替療法 3回目: 2019年10月19日(土) 晩期合併症と長期フォローアップ 4回目: 2019年11月2日(土) 終末期の看護</p> <p>地域内研究会・講習会の継続実施 6月7日兵庫県小児血液腫瘍症例検討会 11月29日 小児がん治療講演会 2月14日 兵庫県小児Tumor Board 1月8日 小児がんのための薬剤開発を考える(於国立がんセンター) 2月24日 兵庫県がん生殖医療協議会 3月22日:神戸大学がんプロ養成プランとの行政・患者会合同の小児がん長期サバイバーの長期フォローアップに対する講演会・患者との座談会(予定)</p> <p>(2)情報連携:地域内がん相談支援室との連携による機能拡大。兵庫県がん・生殖医療ネットワークとの連携によるAYA世代がん患者の妊孕能温存処置の拡大・促進、特に卵巣凍結保存</p> <p>(3)がん登録:専任職員を用いた地域がん登録の継続実施。</p> <p>(4)緩和医療:緩和医療チームの活動促進、6月1日より緩和ケア診療加算 12月までに23件</p> <p>(5)小児がん連携病院の指定</p> <p>(6)医療連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児がん拠点病院連携会議(6月19日、1月17日) ・小児がん診療病院連携会議(近畿ブロック 7月23日、2月22日8予定) 中四国ブロック1月11日 ・小児がん診療病院とのTV会議(8月、12月除く毎月) ・兵庫県立神戸陽子線センターとの連携 さらなる症例の集積 ・当院Tumor Board(週1回)への他院からの参加奨励 <p>(7)臨床研究:JCCGを中心に計画されている国際臨床試験への積極的参加 小児悪性腫瘍に対する陽子線治療の観察研究の実施 臨床研究法対応、特に小児の場合適応外薬剤(特定臨床研究扱い)対策</p> <p>(8)AYA世代(高校生)の教育支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生にする遠隔双方向授業開始 ・ボランティアなどを活用した高校生に対する教育支援事業の実施 <p>(9)国際協力推進事業(平成29年度医療技術等国際展開推進事業(NCGM事業)) 開発途上国における小児がんの診療効力強化として小児がん診療従事者の交流・促進</p> <p>(10)人材確保・教育 Child Life Specialist(CLS)確保 専門看護師・薬剤師養成 若手医師の交流</p>

項目	内容
令和2年度の活動計画	<p>(1)研修教育:看護研修会 今年度は3回シリーズ予定 1回目: 2020年7月4日(土)基礎編 2回目、3回目: 2020年10月、11月(予定;テーマ未定) 近畿ブロック小児がん拠点病院主催小児がん看護研修・小児がん相談員合同研修 12月(予定) LCAS(Lifetime Care and Support for Child, Adolescent and Young Adult:「小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会」)実施</p> <p>地域内研究会・講習会の継続実施 6月頃兵庫県小児血液腫瘍症例検討会 11月頃小児がん治療講演会 1月頃小児がんの薬物開発</p> <p>(2)情報連携:地域内がん相談支援室との連携による機能拡大。兵庫県がん・生殖医療ネットワーク事との連携によるAYA世代がん患者の妊孕能温存処置の拡大・促進、特に卵巣凍結保存</p> <p>(3)がん登録:専任職員を用いた地域がん登録の継続実施。</p> <p>(4)緩和医療:緩和医療チームの活動促進、緩和ケア診療加算推進</p> <p>(6)医療連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児がん拠点病院連携会議(計3回、次回はR2.6.19) ・小児がん診療病院との連携 連携会議(近畿は年2回程度予定) 中四国ブロック R3.1.9 再発難治例の集約化と標準治療群均てん化 ・小児がん診療病院とのTV会議(8月、12月除く毎月) ・兵庫県立神戸陽子線センターとの連携 さらなる症例の集積 ・当院Tumor Board(週1回)への他院からの参加奨励 <p>(7)臨床研究:JCCGを中心に計画されている国際臨床試験への積極的参加 小児悪性腫瘍に対する陽子線治療の観察研究の実施(脳腫瘍で開始予定) 臨床研究法対応、特に小児の場合適応外薬剤(特定臨床研究扱い)対策</p> <p>(8)AYA世代(高校生)の教育支援さらなる促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔双方向授業推進 ・ボランティアなどを活用した高校生に対する教育支援事業の実施 <p>(9)国際協力推進事業(平成29年度医療技術等国際展開推進事業(NCGM事業)) 開発途上国における小児がんの診療効力強化として小児がん診療従事者の交流・促進</p> <p>(10)人材確保・教育 Child Life Specialist(CLS)確保 専門看護師・薬剤師養成 若手医師の交流</p>

資料 神戸陽子線センターでの 小児症例実績



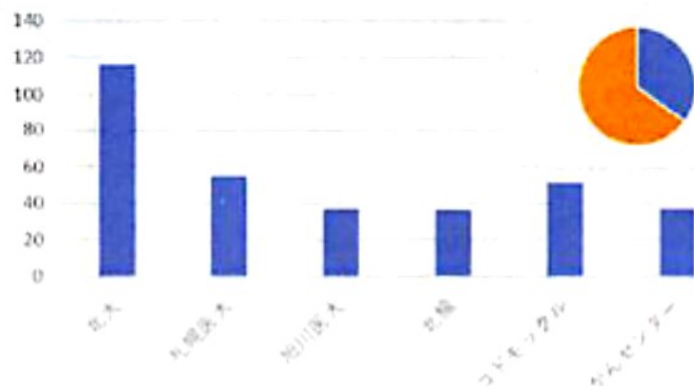
月別詳細	全例	要鎮静	化療併用
2019年4月	5	3	4
2019年5月	6	4	1
2019年6月	2	1	2
2019年7月	5	1	3
2019年8月	6	4	4
2019年9月	4	2	3
2019年10月	8	5	4
2019年11月	6	4	3
2019年12月	6	3	4
2020年1月	3	3	3
2020年2月	2	1	0
累計	100	54	51

年度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2017年度												3	3
2018年度	2	7	3	6	3	2	2	4	4	3	5	3	44
2019年度	5	6	2	5	6	4	8	6	6	3	2	5	58

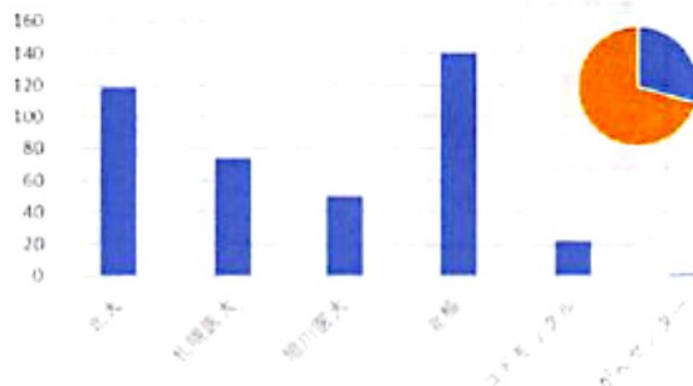
診療の実態（北海道ブロック）

・2010年-2017年度の**新規**患者総計（北海道内の小児がん診療病院から収集）

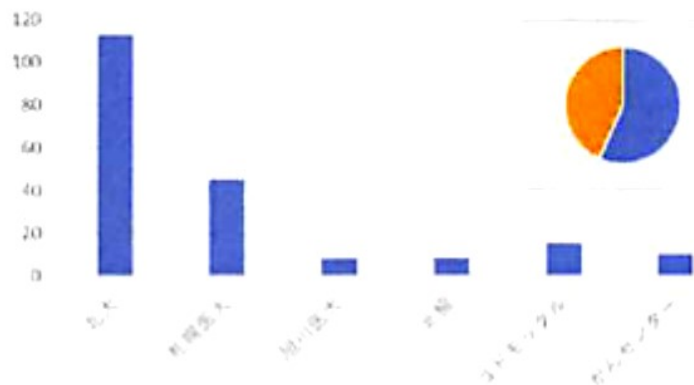
固形腫瘍(2010-17)



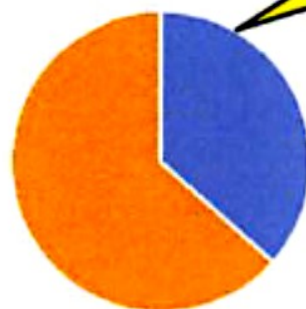
造血器腫瘍(2010-17)



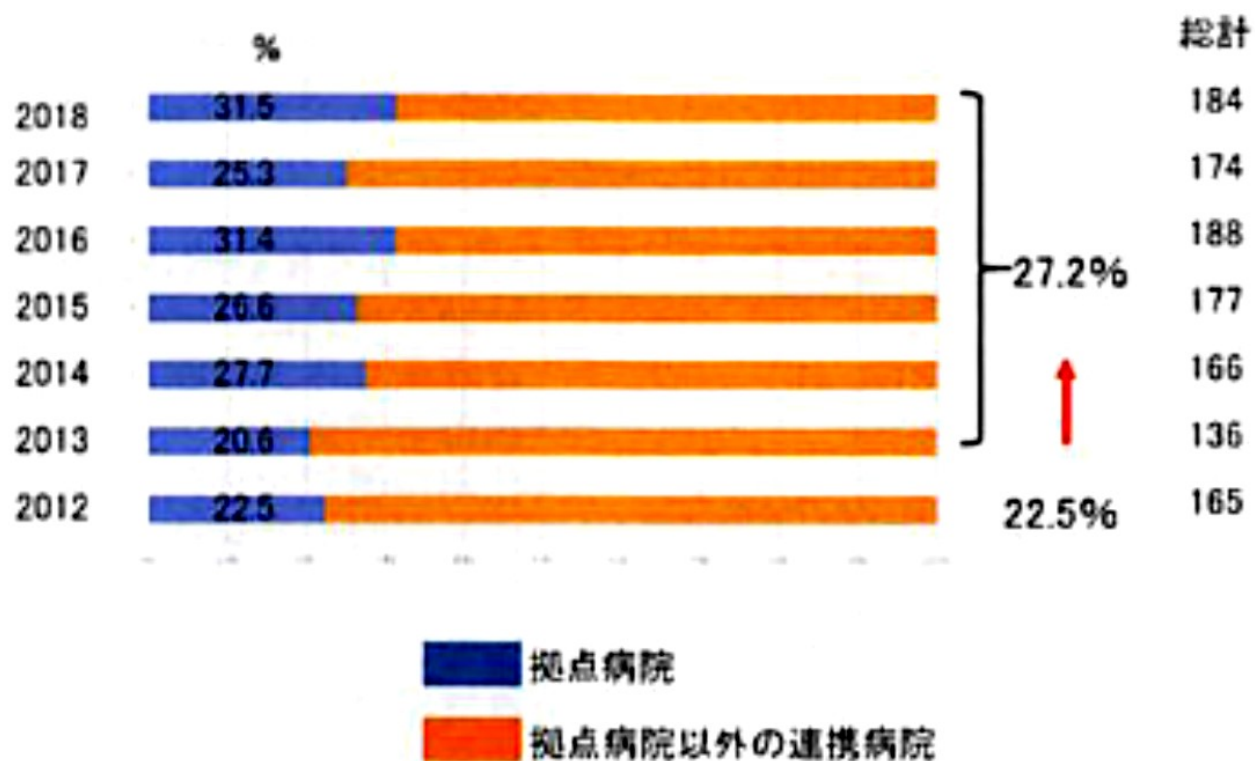
脳腫瘍(2010-17)



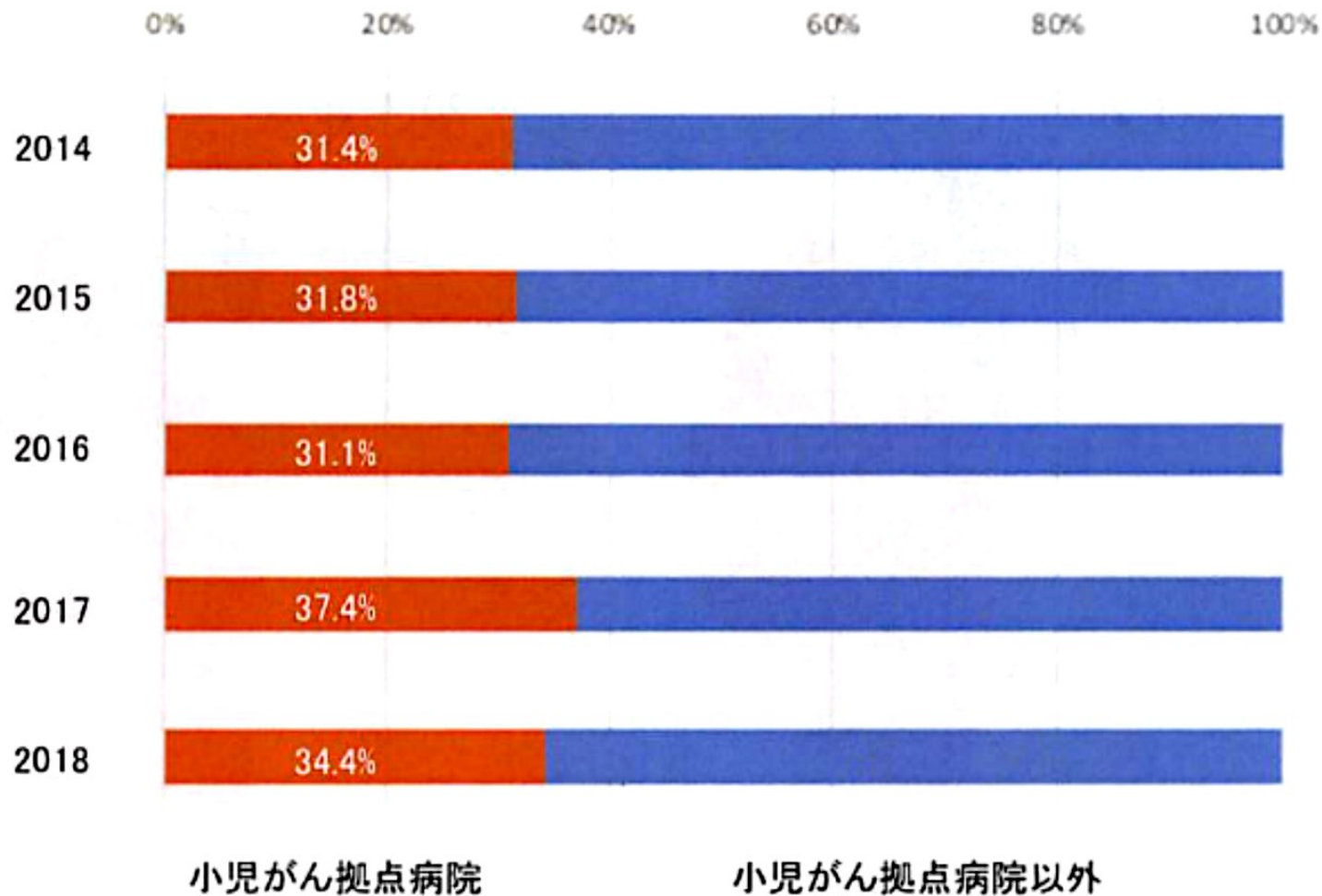
北海道大学病院



全症例数からみた拠点病院への集約化



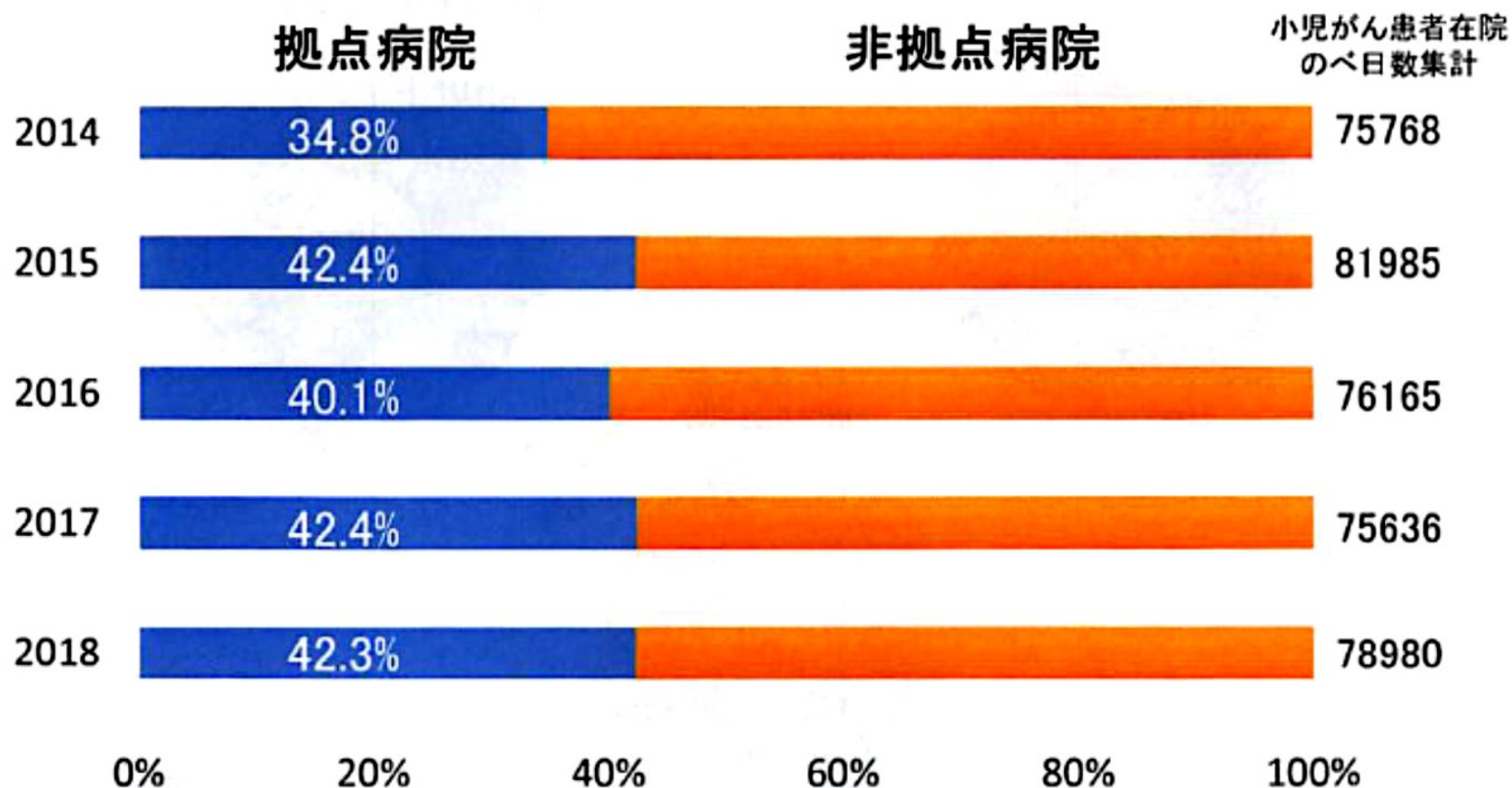
小児がん入院在院延べ日数からみた集約化(関東甲信越)



小児がん拠点病院情報公開資料より

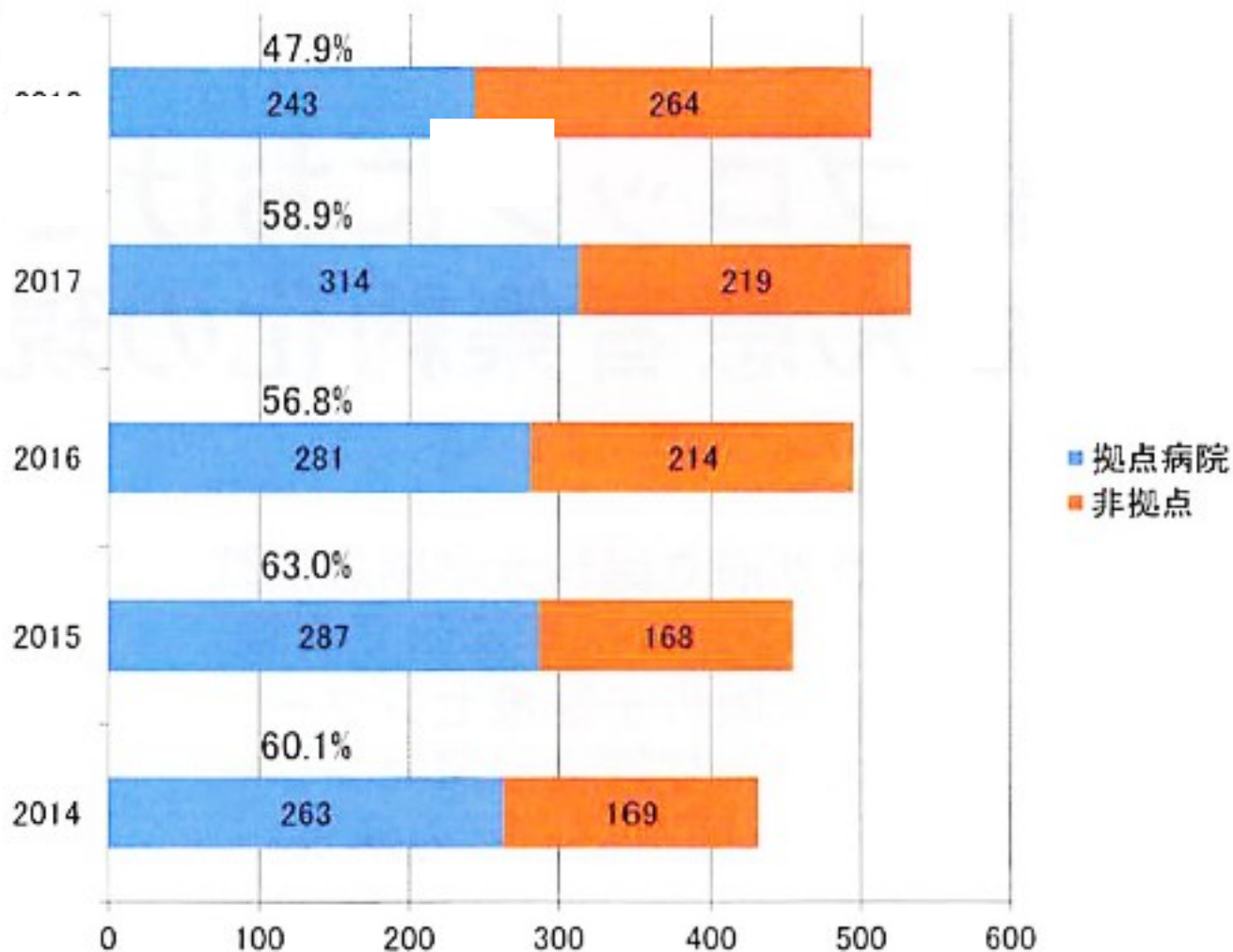
東海北陸地域の小児がん患者入院延べ日数 からみた拠点病院への集約化

小児がん患者在院のべ日数の拠点病院比率



情報公開からみる集約化について(症例数ベース)

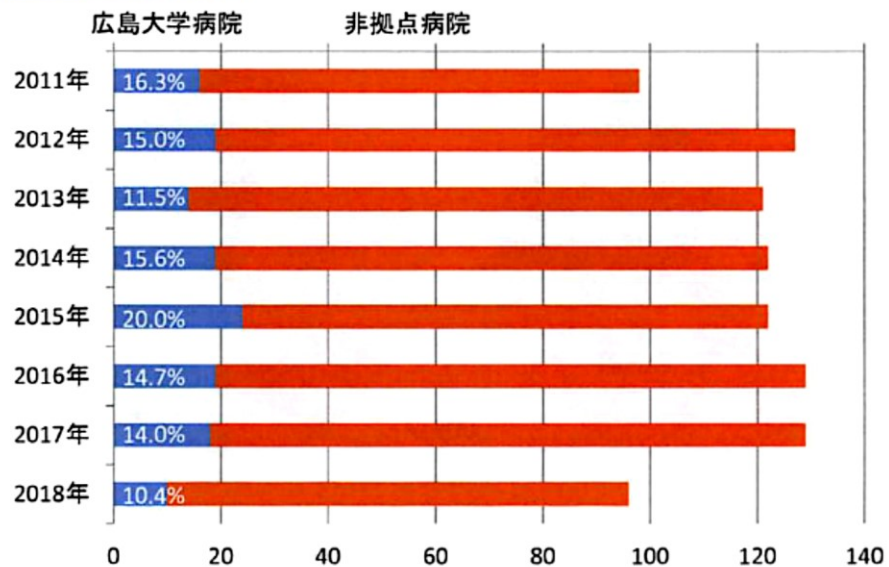
初発例
(総計)



近畿地区

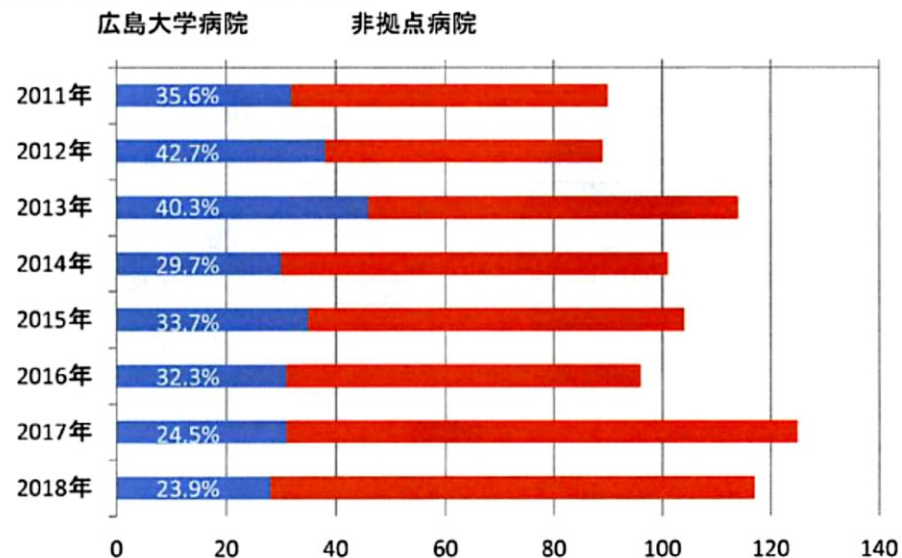
情報公開資料からみる集約化について(症例数ベース)

造血器腫瘍(初発例)



情報公開資料からみる集約化について(症例数ベース)

固形腫瘍(脳腫瘍含む・初発例)



中四国地方

九州・沖縄地域における小児がん患者の集約化 (入院在院のべ日数より)

